

科目	単位	時間	履修学年	講師名
病態治療各論VI	1	30	1	徳永 英守(6H) 西岡 利和(6H) ☆堀内 薫(8H・テスト 1H 含む) 高橋 信行(10H)
ねらい	人体の機能を基本とし、脳・神経系疾患の主要症状、病態及び関連した検査・治療について学ぶ。			
回数	授業内容			授業方法
1回目(徳永)	【脳疾患】 徳永・西岡・堀内 (19時間)			講義
2回目(徳永)	1.出血性脳血管障害 *第5章(P116~P155)			
3回目(徳永)	2.閉塞性脳血管障害 3.脳腫瘍 (P155~162)			
1回目(西岡)	1.補助的診断法 *第4章			講義
2回目(西岡)	2.閉塞性脳血管障害の治療 *第5章(P116~P155)			
3回目(西岡)	3.出血性脳血管障害の治療			
1回目(堀内薫)	1.頭痛、高次脳機能障害、運動機能障害、感覚機能障害 *第3章			講義
2回目(堀内薫)	2.自律神経障害、頭蓋内圧亢進・脳ヘルニア・水頭症、頭部外傷			
3回目(堀内薫)	*第5章(P155~P178)			
3.5回目(45分堀内薫)	【神経系疾患】 高橋 (10時間) *第5章 185~245			講義
1回目(高橋)	1.脊髄腫瘍、末梢神経障害(ギランバレー症候群、顔面神経麻痺)			
2回目(高橋)	2.筋・神経筋接合部疾患(筋ジストロフィー、多発性筋炎・皮膚筋炎、重症筋無力症、)			
3回目(高橋)	3.脱髄・変性疾患(多発性硬化症)			
4回目(高橋)	4.脳・神経の変性疾患(パーキンソン病、ハンチントン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症、ALS)			
5回目(高橋)	5.認知症、てんかん・脳・神経系の感染症(脳炎、髄膜炎)			講義
15回目(45分)	終講試験			
教科書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学⑦ 脳・神経 (医学書院)			
評価方法	筆記試験 (1時間 [45分間] :100点) 徳永 20点・西岡:20点・堀内薫:26点・高橋:34点			
備考				